

【草花の部屋】

ニッコウキスゲ (ユリ科ワスレナグサ属) Hemerocallis dumortieri var. esculenta)

和名：ニッコウキスゲ **別名**：ゼンテイカ (禅庭花)、エゾカンゾウ

英名：Daylily

ユリ目 多年草 **原産地**：ヨーロッパ

花言葉：日々あらたに、夏美人 **花の色**：黄色



← **写真-1** ニッコウキスゲ

撮影日：2013年7月10日

撮影場所：ポントレジーナ(スイス)にて

撮影者：M さん

宿泊ホテルの前庭に植えられていました。前庭のなかで、黄色の花はこの花一種。結構、目立ちました。その場では、ユリの仲間だろうか？と思いつつ……。調べてみるとゼンテイカ、日本ではニッコウキスゲの名前でよく知られた花でした。小生、実物を目にするのは初めて。名前はよく耳にしましたが、見るのは写真だけでしたが……。

今回、和名は、日本でよく知られている「ニッコウキスゲ」を使用しました。

← **写真-2** ニッコウキスゲの花

撮影日：2013年07月10日

撮影場所：ポントレジーナ(スイス)にて

撮影者：M さん

日本の本州などでは高原に普通に見られるそうですが、東北地方や北海道では海岸近くでも見られ、関東では低地型のムサシノキスゲや、奥多摩、埼玉、茨城県でも低地型の自生のニッコウキスゲが見られるそうで





す。花期は5月上旬から8月上旬。草原・湿原を代表する花で、群生すると山吹色の絨毯のようで美しいそうです。

← 写真-3 ニッコウキスゲの葉

撮影日：2013年07月10日

撮影場所：ポントレジーナ(スイス)にて

撮影者：M さん

高さは50cm～80cm。花茎の先端に数個つぼみをつける。花はラッパ状で、大きさは10cmぐらい。花びらは6枚。葉は線形で長さ60～70cm。朝方に開花すると夕方にはしぼんでしまう一日花。ムサシノキスゲは開花の翌日まで開花するそうです。

日光の霧降高原、尾瀬ヶ原、霧ヶ峰などの群落が有名。花が黄色で葉がカサスゲ（笠萱）に似ているため、地名を付けてニッコウキスゲと呼ばれだし、全国に広まったそうです。ただし、栃木県日光地方の固有種というわけではなく、ゼンテイカは日本各地に普通に分布しているそうです。

<ちょっと一言>

日本では天然記念物に指定されているところもあります。

天然記念物・雄国沼湿原植物群落

天然記念物・駒止湿原

特別天然記念物・尾瀬（大江湿原など）

天然記念物・霧ヶ峰三湿原（車山湿原、踊場湿原、八島ヶ原湿原）